

主催:女性・戦争・人権学会

共催:立命館大学国際言語文化研究所ジェンダー・スタディーズ研究会/
基盤研究C代表:志水紀代子(追手門大学)

女性・戦争・人権学会第11回大会

今こそ人権回復を求めて

—国際人権法と日本軍性奴隷制度—

日時:2009年6月21日(日) 10:00-17:30

*学会員以外の方は、11:00より参加可能です

会場:立命館大学衣笠キャンパス末川記念会館講義室

(正門より左手一つ目の建物の1階)

参加費:学会員・学生 500円、非学会員 1,000円



プログラム

9:30 受付開始

10:00-11:00 2009年度総会 司会 清末愛砂(島根大学)

11:00-12:00 自由論題報告

「周辺住民の語りに見る地域社会の中の『慰安婦』」

報告 玉城福子(大阪大学大学院)

コメント 秋林こずえ(立命館大学)

12:00-13:30 休憩

13:30-17:30 大会シンポジウム

「今こそ人権回復を求めて—国際人権法と日本軍性奴隷制度」

司会 岡野八代(立命館大学)

13:30-15:10 報告

「日本軍『慰安婦』問題と立法の提案—立法の実現は女性が決める」

報告 戸塚悦朗(龍谷大学)

『慰安婦』訴訟・再考—国際法の歴史/歴史の中の国際法」

報告 阿部浩己(神奈川大学)

「日本軍性奴隷制度と複合差別」 報告 ^{もと}元百合子(大阪女学院大学)

15:10-15:20 休憩

15:20-15:40 コメント 清末愛砂(島根大学)

15:40-17:30 コメントへの応答 質疑応答